カトリック山手教会月報

やまて

編集・発行　カトリック山手教会 広報委員会　〒231-8652 横浜市中区山手町44番地
☎（045）641－0735　http://catholicyamate.org/
第６６１号　２０２５年3月9日

信徒大会開催

２月９日（日）11時半のミサ後に信徒大会が開催されました。まず主任司祭の鈴木真神父様の挨拶、続いて教会委員長の挨拶があり、両名とも今年は25年に一度の通常聖年で、山手教会が横浜教区唯一の巡礼指定地であることを説明しました。また山手教会の信徒の皆さんに、巡礼に来られる他教会の方々を迎える協力を呼びかけました。

続いて総務の宮さんが配布された資料を説明する形で会が進んでいきました。まず冒頭に通常聖年の公式マスコットであるルーチェの等身大パネルなど、すでに聖年のために作成したものが紹介されました。人数などのデータ資料のページでは、今年からICCの希望により、山手教会の信徒数に含まれていなかった外国籍信徒がいることを欄外に補足説明することにしました。特に、最近は日本語ミサより英語ミサの方が圧倒的に参加人数が多いので、必要な補足ということで資料に入れることになりました。活動報告、組織図、活動計画などのページは足早に説明されましたが、資料にはない補足として、コロナ禍で途絶えてしまった各会の奉仕や活動を通して、特に新しく山手教会に加わった受洗者や転入者の皆さんが教会になじんで活躍できるような１年にできればという教会委員会で課題になっていることも説明されました。

続く会計報告の説明は、財務担当の佐藤さんに代わり、収入はコロナ前のようには戻らないにしても、ミサの参加人数に比例する形で徐々に回復しつつあるとの説明がありました。

一連の説明が終わった後、質疑応答が行われ、バス通りに設置している掲示板の内容を充実したらどうかというご意見や、司教様が唱えておられる３部門を中心に教会の組織図を編成したらどうかなどのご意見があり、教会委員会で話し合う課題を幾つかいただきました。最後に、当日参加していた教会委員全員の紹介がおこなわれ、信徒大会は終了しました。

信徒大会終了後は、教会ホールで福祉委員会の皆さんに準備していただいた茶菓をいただきながら暫し歓談のときを持つことができました。

（文：教会委員会　委員長　小倉 謙
撮影：編集部　土方芳人）

2025年度 カトリック山手教会・教会委員会 担当委員と各グループ

- 財務委員会（佐藤康夫）
  - 財務・会計
    - 会計集計、予算編成と管理
- 典礼委員会（柳川晋一）
  - 典礼委員会
    - 先唱、朗読、侍者、共同祈願作成、聖歌隊、香部屋、オルガン、聖堂案内、祭壇生花
    - 結婚講座、結婚式、葬儀
- 教学グループ（川田耕嗣）
- 教会学校（花田静香）
  - 講座
    - 各入門講座
  - 信仰養成
    - 聖書勉強会
  - スカウト
    - ボーイスカウト
  - 教会学校
    - ガールスカウト
  - 青年会（休会中）
  - 中高生会（遠藤優菜）
  - 講座
- 福祉委員会（大森秀樹）
  - 福祉委員会
    - SSVP(聖ヴィンセンシオ･ア･パウロ会)(休会中)
- 総務グループ（宮　裕一）
  - 総務・庶務
    - 教会委員会事務／信徒大会運営／各行事サポート
- 広報委員会（土方芳人）
  - 広報委員会
    - 教会報／行事撮影／図書室
- 情報システム委員会（宮　裕一）
  - 情報システム委員会
    - ホームページ／アーカイブ／インフラ整備・運用管理等
- 行事委員会（未定）
  - 教会全体行事
  - （軽食提供）
    - 軽食サンデー
- 施設管理委員会（未定）
  - 営繕
  - 清掃
    - 大掃除（聖堂・信徒館）
  - 駐車場
- 修道会（Sr. 宮下慧子／礼拝会）
  - 礼拝会
  - キリスト教教育修士会
- ICC国際コミュニティー委員会（Pierre SEVAISTRE）
  - ICC国際コミュニティー委員会
- ヨゼフ会（岡崎芳浩）
  - 成年男子の会
- ロザリオ会（松崎恵津子）
  - 成年女子の会
    - 家庭会

みこころコーナー委員会
墓地委員会
グロリア会／シルバーケア
日本語教室
一粒会
レジオ・マリエ
庭清掃
トイレ清掃
キリスト像保存会
コーヒーサンデー　ラーメンサンデー
チャリティーコンサート委員会
月修奉仕グループ

信徒の会（バザー委員会）

横浜みこころ幼稚園（福井真理／横浜みこころ幼稚園）

主任司祭
鈴木　真 師
助任司祭
ダリル･ディニョ師
委員長
（小倉　謙）
副委員長
（古谷浩子）
（宮　裕一）

第3地区共同宣教司牧委員
- 鈴木　真 師
- 小倉　謙
- 柳川晋一［祈る力を育てる部門］
- 川田耕嗣［信仰を伝える力を育てる部門］
- 大森秀樹［神の愛を証しする力を育てる部門］

事務所
- 黒部　仁
- 原　弘美
- 新井田一祝

カトリック山手教会 決算・予算報告

（２０２４年度決算）

単位：万円

支　　出	予算	実績
宗教活動費　計	558	577
行　事　費	50	96
布教教化費	120	68
祭　儀　費	200	232
一 般 寄 付	150	131
そ　の　他	38	50
墓地納骨堂管理費　計	150	334
維持管理費　計	1,420	854
修　繕　費	650	128
火災保険料	70	77
その他維持管理費	700	649
事務運営費　計	817	722
人　件　費　計（司祭給与を除く）	1,065	1,004
指 定 献 金　計	643	783
（内、一粒会献金）	※450	473
教区内繰入（分担金他）　計	1,525	1,583
事業支出他　計	100	154
器具備品取得支出	100	0
祭儀備品取得支出	100	0
（小　計）	6,478	6,011
2024年度収支差額	－796	478
合　　計	5,682	6,489

単位：万円

収　　入	予算	実績
献金収入　計	3,560	4,184
月 定 献 金	1,800	1,763
ミ サ 献 金	1,200	1,759
祭 儀 献 金	400	586
そ　の　他	160	76
墓地納骨堂管理収入　計	1,140	875
一般寄付金収入　計	200	419
指 定 献 金　計	643	783
（内、一粒会献金）	※450	473
補　助　金　計	30	30
事業収入他　計	100	165
そ　の　他	9	33
（小　計）	5,682	6,489
合　　計	5,682	6,489

（２０２５年度予算）

単位：万円

支　　出	
宗教活動費　計	705
行　事　費	100
布教教化費	100
祭　儀　費	300
一 般 寄 付	150
そ　の　他	55
墓地納骨堂管理費　計	300
維持管理費　計	1,375
修　繕　費	600
火災保険料	75
その他維持管理費	700
事務運営費　計	848
人　件　費　計（司祭給与を除く）	1,090
指 定 献 金　計	723
（内、一粒会献金）	※500
教区内繰入（分担金）　計	1,800
事業支出他　計	130
器具備品取得支出	100
祭儀備品取得支出	100
（小　計）	7,171
2025年度収支差額	－998
合　　計	6,173

単位：万円

収　　入	
献金収入　計	3,930
月 定 献 金	1,800
ミ サ 献 金	1,500
祭 儀 献 金	550
そ　の　他	80
墓地納骨堂管理収入　計	1,040
一般寄付金収入　計	300
指 定 献 金　計	723
（内、一粒会献金）	※500
補助金（横浜市助成金）	30
事業収入他　計	130
そ　の　他	20
（小　計）	6,173
合　　計	6,173

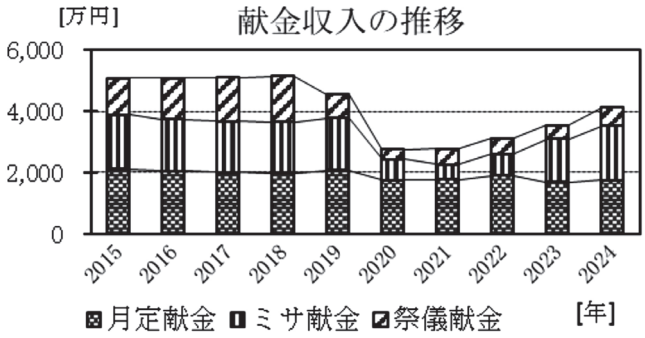
山手教会の財務状況について

日頃は教会活動に、ご理解・ご協力をいただき感謝申し上げます。２月９日（日）の信徒大会でご報告した山手教会の財務状況について、ご説明いたします。

⑴「2024年度会計報告」

教会の財政は、皆様からの「献金」によって成り立っています。幸いにも、皆様のご協力により主な収入である「月定献金」は、コロナ禍以前の水準に戻りつつあると考えられますが、現在の厳しい経済状況を考えると、先行きも厳しい状況は続くものと覚悟せざるを得ません。一方、「ミサ献金」はミサの参加者が新型コロナの始まった2019年当時の水準に戻った印象のとおり、比例して増加しています。

「祭儀献金」は、聖堂の大規模改修の始まった2019年以降、結婚式数の減少に伴い減少したままです。



支出では、特に目立った高額な案件は見られず、以前の状況に戻った印象ではありますが、聖堂の未改修部分や設備の老朽化、司祭・信徒館の建物、設備の不具合件数も増えており、修繕費の増加が懸念される状況にあります。大きなトラブルに至る前に早期の修理や設備の更新などで対処していく考えです。

⑵「2025年度予算」

昨年に続き、徐々に教会活動もコロナ前の状況に戻りつつあると予想し、昨年10月に次年度予算を策定しました。地球温暖化に伴う空調設備の強化・改善対策の検討が始まっています。施設の劣化・老朽化に伴う修繕案件の増加、設備の老朽化による更新案件など課題も多く、更なる出費が必要となりそうなので、引き続き「献金」にご理解とご協力をお願いいたします。

（財務委員会　委員長　佐藤康夫）

鈴木真主任司祭主日ミサ説教

2025年１月５日　主の公現　C年
マタイ福音書　２章１－12節

『占星術の学者たちが訪れる』…マタイにしかない話ですが、これがさまざまな発展を後に見せることとなりました。まず「３人」とはどこにも書いてないわけですが、贈り物が３つだったことから、早くから「３人」と定着し、いつの間にか名前まで決まります。「カスパル、メルキオール、バルタザール」。さらには、それぞれの人種も、白人、黒人、そして黄色人種…と。まぁ、それが「主の公現」、つまり“すべての民族に救い主降誕が告げ知らされた”との所以となるわけですが…。

そして、「４人目がいた」という物語が後に作られます。1895年にヘンリー・ヴァン・ダイクという人が「アルタバン物語」として発表したのだそうです。これがとても感動的な話で、４人目のアルタバンは３人と待ち合わせしていたのですが、途中で行き倒れの旅人と出会って、彼を治療している間に３人は行ってしまいます。ここから、アルタバンの救い主を探す旅が始まるのですが、なかなかイエスに会うことができません。彼は全財産を売り払って３つの宝石を、イエスへの贈り物として用意したのですが、旅の途中に困っている人に出会い、１つ、また１つと宝石を手放してしまいます。そして、とうとうイエスが十字架にかけられるところに間に合わず、彼も人生の最期を迎えようとしたその時、目の前に復活のキリストが現れるのですね。そして、イエスは言います。「アルタバン、あなたからの贈り物はすべて受け取っている」アルタバンが「おっしゃることがわかりません。わたしは今、初めてあなたにお会いしたのです」というと、あのマタイ25章の言葉が言われます。

「わたしの兄弟である最も小さい者にしてくれたことは、わたしにしてくれたことなのだ。」アルタバンは、ああ、自分の人生は間違っていなかった…

と息を引き取ります。手放しで喜べる終わり方ではないですが、いろいろと考えさせられる物語です。

そして、毎年話していますが、わたしは鎌倉の富士愛育園というカトリックの保育園の出身なのですが、そこの年長が担当する聖劇に、この「４人目」が出てくるのです。わたしが年長のとき、その４人目を担当したのです！まぁ、名前もありませんでしたし、ストーリーも単純で、４人目の博士は３人と待ち合わせをしていたが、途中で貧しい女の人に出会って助けているうちに３人は行ってしまう…という場面だけでした。その貧しい女の人役を担当したのは、当時、近所に住んでいた女の子でした（それは、どうでもいいですが…）。そのようなわけで、わたしはずっと、博士は「４人」と思っていたのですが、卒園してからそのような話はどこにもない…あれは何だったのだろうとずっと思っていましたが、司祭になってからようやく、女子パウロ会が作った『四人目の賢者』という映像を見て、「これだ！」と思った次第でした。いまだに、富士愛育園の聖劇にどうして「４人目」が入れられたのか、誰に聞いても不明です。

いずれにしても、「主の降誕」にまつわる話がみんな福音的であるのは、まぁ当たり前かもしれませんが、「救い主が世に来られた」ことが、それだけわたしたちのさまざまな「救い」につながっている…ということなのでしょう。

降誕節のしめくくりを迎えて、改めて救い主が世に来られたことの恵みの大きさを、共に分かち合いたい、と思います。

（撮影：編集部　土方芳人）

横浜教区神奈川第３地区 共同宣教司牧委員会の報告

今年度初めての神奈川第３地区共同宣教司牧委員会の集まりが１月26日（日）末吉町教会で開催されました。

３部門の働きから①信仰を伝える力を育てる部門では、２月に通常聖年の勉強会を予定していること②祈る力を育てる部門では、通常聖年の巡礼教会になっている山手教会の取り組みの様子が話されました。審議として、いくつかの教会でオルガニストが足りない現状があげられました。山手教会には幸い何人ものオルガニストがいらして毎回のミサやご葬儀に奉仕してくださっています。各教会のオルガニストが連絡を取り合い主任司祭の把握の上で柔軟にサポートし合うことが決まり、この部門で進めていくことが承認されました。また、今年度も各教会の黙想会、聖週間などの日程一覧表を作り第３地区全体で共有します。自分たちの教会だけという意識ではなく、ひとつの共同体であることを感じさせる取り組みです③神の愛を証しする部門では、今年度は“傾聴”をもっと深めたいと勉強会の開催が予定されています。またステラマリス、ENCOMなどの活動支援として、多くの信徒に知っていただき、関わっていくように働きかける必要性があることを話されました。そのような中、横浜雙葉学園の生徒がプレゼント作りや訪船を体験し、船員の方と交流できたことは良かったと報告されました。また環境問題についての取り組みとして、自然の中の体験から神様を知る･･･小麦を育てホスチアを作るという発想に皆感動しました―その他、青少年委員会など各委員会の活動が報告されました。

３月20日（木・祝）に保土ヶ谷教会で枇杷助祭の司祭叙階式が予定されています。同時に助祭になられたトラン助祭、ホアン助祭は８月４日ベトナムで行われます。大きなお恵みの第３地区となります。

最後に、今回は親睦会が行われました。中国コミュニティーの方が中華料理でもてなしてくださいました。おいしい食事のなか話も弾み、青少年デスク担当の上智大学のお嬢さんたちの素直な信仰心に感動いたしました。今年度も各教会が神様につながるブドウの枝のように、そして、私たちがそれにつながるブドウの房となり大きく実ることができますことを願い報告させていただきます。

次回は３月30日（日）保土ヶ谷教会で開催予定です。

（教会委員会　副委員長　古谷浩子）

ロザリオ会便り

2025年の聖年のロザリオ会巡礼は、５月20日（火）

に行います。東京教区の巡礼指定教会の１つである神田教会を訪ねます。鈴木真神父様の司式でミサをささげますが、主任司祭の立花神父様の予定が合えば、共同司式となります。この教会は日本で最初に聖フランシスコ・ザビエルにささげられた聖堂で、かつては司教座でした。ステンドグラスの美しいすばらしい教会です。ここで結婚式を挙げたというロザリオ会の会員も何人かいました。その他に四谷の聖イグナチオ教会も訪ね、近くのサンパウロ、サンパオリーノなどで買い物をする時間も考えています。詳細が決まり次第、皆さまにお知らせします。またみんなでいただくランチも、皆さまに喜んでいただける場所を考えています。聖年の巡礼ですから、ぜひ多くの方が参加されることを望んでいます。

こういう機会に、ロザリオ会になじんでいただき、１つの家族のように心を通わせることができますようにと願っています。

（ロザリオ会　広報　山本 紀志子）

墓地委員会からの「お知らせ」

教会報『やまて』２月号でもご案内いたしましたが、再度のお知らせです。

＜墓地利用者へのお願い＞

墓地利用契約者の承継について、現在、墓地委員会では確実な継承ができるよう規程内容の見直しを進めております。昨今、代替わりが増える中、残念ながら、墓地管理料の支払いの遅滞が増えており、中には契約者に連絡が取れない事案も発生しております。安心して末永くご利用いただけるための規程の改定を検討しております。皆様のご理解をお願いいたします。

＜山手墓地募集のお知らせ＞

上記規程改定を進めながら、およそ10年ぶりに、山手墓地の募集を下記要領で行う予定です。

・募集墓地区画数：10区画
・募集期間：2025年４月22日（火）～６月１日（日）
・抽選会：2025年６月15日（日）午後１時～
・対象者：山手教会信徒

募集方法案は、申込希望者へ４月22日（火）以降、教会事務所で書類をお渡しします。６月１日までに所定の申込用紙を提出（含、郵送）してください。６月15日（日）午後１時以降、教会の司祭・信徒館で抽選を行う予定です。感謝と祈りのうちに。

（山手教会墓地委員会　委員長　末澤二朗）

2025年２月度教会委員会議事要約

日時：2025年２月２日（日）午後１時～３時20分
場所：司祭・信徒館１階「松・竹」

議事内容（議事進行：小倉委員長）

１　主な審議確認検討事案　※順不同

⑴　四旬節・聖週間の予定に関して

● ３月30日（日）に共同回心式と赦しの秘跡を行う。
● ロザリオ会とヨゼフ会の黙想会は３月29日（土）の予定。
● 灰の水曜日（３月５日）のミサの時間は、神父様との時間の調整を踏まえて決定する。

⑵　福祉施設への2025年度年間配賦金について

● 2025年度の配賦金は、昨年と同様の内容としたい。

【決定事項】
・承認する。

⑶　パイプオルガンの絵葉書作成について

● パイプオルガン設置30周年を記念したオルガンの絵葉書を作成し６月29日（日）のオルガンコンサートで献金をいただいた方へのお礼とすることもできるほか販売も検討したい。

【決定事項】
・制作する方向で検討を進める。

⑷　パイプオルガン設置30周年オルガンコンサートについて

● ６月29日（日）に設置30周年オルガンコンサートを開催する。山手教会のオルガニストたちが演奏する。
● オルガンの制作者を招いて山手教会のオルガニストによるオルガンのコンサートを10月か11月の日曜日に開催したい。

【決定事項】
・承認する。

⑸　フロリダ合唱団の準備とリハーサル時間について

●フロリダ合唱団よりコンサートの準備とリハーサルのため６月20日（金）の12時半から聖堂を使わせてほしいとの要請があった。

【決定事項】
・承認する。

⑹　第３地区共同宣教司牧委員会より

●枇杷助祭の司祭叙階式について保土ヶ谷教会から協力要請があった。

【決定事項】
・２月末までに検討する。

２　今後の活動、報告事項

【横浜みこころ幼稚園より】
●昨年と同様に幼稚園によるバザーを開催する方向で検討している。

【ロザリオ会より】
●２月のロザリオ会主催ミサについては、２月７日（金）鈴木師司式。３月は３月７日（金）予定である。

【事務所より】
●通常聖年の巡礼訪問の申込み状況について、２月２日（日）時点で団体の申込みは５件の申し込み。
●山手教会について説明できる方が現在少ないため、説明を希望された団体に対し対応が難しいことも考えられる。
●巡礼の訪問申込書には、聖堂説明については希望に添えない場合がある旨を記載した。

【総務より】
●2025年度信徒大会資料に関しての確認。
●山手教会の信徒数について未登録の外国籍の方も何らかの形で表現する。
●信徒大会後の茶話会はロザリオ会、福祉委員会に協力いただく。

【典礼委員会より】
●通常聖年関連では、日本語ミサで期間中、第１土日に聖年の祈りを唱えることとする。
●公式賛歌「希望の巡礼者」は第１土日と第３土日に閉祭の歌として歌うこととする。２月16日（日）より開始。
●２月８日（土）から枝を回収する。灰作りは３月２日（日）。

【福祉委員会より】
●寿町の夏祭り実行委員会が開催される予定。
●末吉町教会で神の愛を証する力を育てる部門の会が行われた。

【総務より】
●巡礼記念のカードと聖年の祈りのカード、聖年に関するパネルが完成。
●教会案内の新しいパンフレットが完成。今後さまざまなご意見を踏まえブラッシュアップする。
●英語のパンフレットについても検討を進める。

３　主任司祭から

●２月22日（土）から24日（月・祝）にカトリック青年連絡協議会のネットワークミーティングに参加するため教会を留守にする。会場は、御殿場のYMCA東山荘。
●２月27日（木）午前中に横浜雙葉学園の中学１年生が聖堂に来る予定となっている。
●３月29日（土）学連の集いで司祭･信徒館1階「松･竹」を使用する。

４　次回教会委員会

2025年３月２日（日）
午後１時から３時終了予定。

（総務担当　宮 裕一）

＜ご紹介＞

これは、編集部の渡邊敏行氏所有のもので、2023年の秋からデザインや材料（フランスから取り寄せたガラス）の検討を始めて、７か月以上を経て完成したステンドグラスのランプです。高さは台座から先端まで約43cm。長方形部分はすべて黄色、塔頂部は鐘楼をイメージ。四面が山手教会聖堂側面の窓のミニチュアです。長崎県五島市（福江島）の三井楽教会の信徒で、三井楽ステンドグラス工房を主宰する濱崎さんという女性が渡邊氏の細かいリクエストに応えて作製されたとのことです。

（編集部　土方芳人）

2025年３月・４月主日ミサの聖歌および奉仕者予定表

	主日	聖歌			聖歌隊	時間	奉仕者				備考
		答唱詩編	アレルヤ唱	ミサ曲			オルガン	先唱	聖書朗読		
３月９日	四旬節第１主日	典129 ①②③	典260 第1主日	ミサ曲A 典605～9		前日pm5：00	村松	齋藤(悠)	小佐井	福田(直)	
						７：30	手束	二宮	東海林(珠)	時久(毅)	
					＊	11：30	佐藤	遠藤	石田(明)	中野(説)	
16日	四旬節第２主日	典73 ①②③	典260 第2主日	ミサ曲A 典605～9		前日pm5：00	村松	工藤(元)	飯塚(秀)	志村(光)	
						７：30	渡邊	末澤	石川(喜)	工藤(元)	
						11：30	太田	子どもとともに、ささげるミサ			
23日	四旬節第３主日	典93 ①②③	典260 第3主日C	ミサ曲A 典605～9		前日pm5：00	忠海	宮(裕)	工藤(元)	島田(節)	
						７：30	手塚	亀井	古谷(浩)	藤本(茂)	
					＊	11：30	岡村	小倉	中川(由)	池田(恵)	
30日	四旬節第４主日	典128 ①②③	典260 第4主日C	ミサ曲A 典605～9		前日pm5：00	太田	柳川	工藤(元)	櫻井(智)	
						７：30	小嶋	時久	梅田(啓)	稲葉(千)	
						11：30	米沢	村田(義)	小松(美)	荻原(恵)	
４月６日	四旬節第５主日	典154 ①②③	典262 第5主日C	ミサ曲A 典605～9		前日pm5：00	村松	竹之内	新井田	阿部(眞)	
						７：30	手束	石賀	鈴木(幸)	鈴木(由)	
					＊	11：30	手塚	山本(紀)	清水(美)	中山(峯)	
13日	受難の主日 (枝の主日)	典176 ①②③④	詠唱 典317	ミサ曲A (典608,9)		前日pm5：00	村松	齋藤(悠)	第一朗読 小佐井 朗読C 選定中	第二朗読 福田(直) 朗読A 選定中	
						７：30	中川	二宮	第一朗読 東海林(珠) 朗読C 石川(喜)	第二朗読 時久(毅) 朗読A 選定中	
					＊	11：30	佐藤	遠藤	第一朗読 石田(明) 朗読C 池田(恵)	第二朗読 中野(説) 朗読A 選定中	
17日	聖木曜日 (主の晩さん)	典97 ①②③	詠唱 典262 主の晩餐	ミサ曲A 典605～9	＊	pm7：00	太田	末澤	選定中	ICC	
18日	聖金曜日 (主の受難)	典145 ①②③④	詠唱 典317		＊	pm7：00	手塚	村田(義)	第一朗読 選定中 福音C 阿部(眞)	第二朗読 ICC 福音A 川田(耕)	
19日	復活徹夜祭	典79 ①②③ 典7 ①③	典12①②③	ミサ曲A (典607～9)	＊	pm7：00	米沢	齋藤(悠)	第一朗読 ICC 第三朗読 古谷(浩)	第五朗読 ICC 第七朗読 末澤(二) 使途書 古谷(信)	
20日	復活の主日　祭	典87 ①②③	典351(続唱) 典266または 264	ミサ曲A 典605～9		７：30	渡邊	末澤	石川(喜)	工藤(元)	
					＊	11：30	中川	小山	中川(由)	佐伯(奈)	
27日	復活節第２主日	典87 ①②③	典351(続唱) 典264 第2主日	ミサ曲A 典605～9		前日pm5：00	忠海	宮(裕)	工藤(元)	島田(節)	
						７：30	小嶋	亀井	古谷(浩)	藤本(茂)	
						11：30	太田	小倉	小松(美)	荻原(恵)	

編集後記

ある秋の日、すてきなスズガモのカップルに遭遇しました。スズガモは群れで行動しますが、大さん橋と山下公園の間にある小さな入り江に、スズガモが２羽だけ並んで波に揺られていました。仲間の姿はありません。スズガモは雄と雌で体の色が異なるため、カップルであることが分かります。この公園でシーズン中、長年にわたりスズガモを観察して来ましたが、カップルだけで行動しているのを見たのは初めてでした。何とすてきなことでしょうか。港や山下公園の上空は、青空が純白のうろこ雲で埋め尽くされ、広い雲の中心に白っぽい太陽が浮き出ており、太陽は周囲に大きな淡い輪郭を作り、柔らかい光をやさしく地上に降り注いでいました。（土方芳人）

☆表紙のカット（山手教会）は、濱尾文郎枢機卿様の「えはがき」です。